

林業ぐんま



目次

林政情報	1
「森林経営管理制度」がスタートしました 防災・減災、国土強靱化のための 緊急3か年対策の取組	4
森の談話室 ↳長野原町林地地区の炭焼き	4
各地のたより （渋川）「トラツククの森」の20回目の活動 （西部）たかさき スプリングフェスティバル開催 （藤岡）未来を担う若手職員育成に向けて 日野県有林を活用した地域課題研修 （富岡）甘楽町の木造文化施設を担う （吾妻）春恒例行事「緑の募金・苗木配布会」実施 （利根）「緑の募金・苗木配布会」開催 （桐生）第七十三回群馬県植樹祭の開催 天皇陛下御即位記念植樹 地域を担う人	5
住吉 良太さん	10
山口 陽裕さん	10
平形 元治さん	10
塩野 修身さん	10
新井 雄大さん	10
福田 和希さん	10
林業試験場から ヒノキコンテナ苗木の植栽時期について	11
普及コーナー チェーンソー特別教育の補講 第20回群馬県きのこ料理コンクールの 参加者募集について	12
トピックス 林業改良普及協会第60回通常総会 ↳林災防群馬支部からのお知らせ	13
	14

夏

林政情報

「森林経営管理制度」がスタートしました

平成31年4月1日に森林経営管理法が施行され、森林経営管理制度がスタートしました。この森林経営管理制度の概要と、森林経営管理法第36条第2項の要件を満たす民間事業者（意欲と能力のある林業経営者）の募集、県による市町村支援について紹介します。

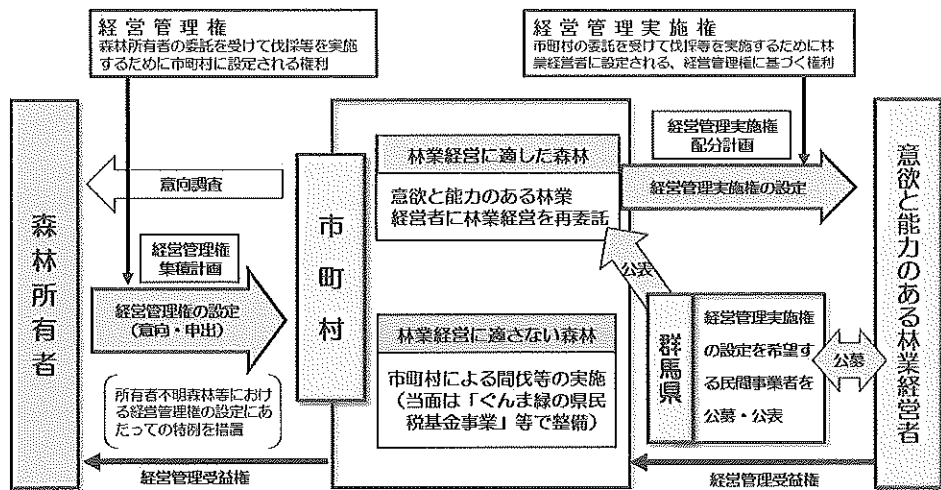
◎森林経営管理制度の概要

森林経営管理制度は、適切な経営管理が行われていない森林を市町村に集約し、「意欲と能力のある林業経営者」への委託や市町村による直接管理等により、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図ることを目的としています。

この制度のポイントは次の4つです。

- ①森林所有者に適切な森林の経営管理を促すため、森林所有者の責務を明確化しました。
- ②その上で、森林所有者が、自ら森林の経営管理を実行できない場合に、市町村が森林の経営管理を引き受けます。
- ③林業経営に適した森林は、「意欲と能力のある林業経営者」に管理を委託します。
- ④林業経営に適さない森林等については、市

森林経営管理制度の概要



町村が管理（当面は「ぐんま緑の県民基金事業」等で整備）を行います。

森林所有者の意向調査
今年度から、森林経営管理制度の第一歩となる市町村による意向調査が始まります。こ

の調査では、整備が遅れている森林を対象に、森林所有者の方へ調査票を郵送するなどし、所有森林の管理状況や今後の管理の意向等についてお聞きします。

◎意欲と能力のある林業経営者の募集

群馬県では、森林経営管理制度の中で林業経営の担い手となる「意欲と能力のある林業経営者」を次のとおり募集します。

（令和元年度第1回募集）

・募集期間 6月10日～7月10日

・事業者の公表 9月上旬頃（県HP）

（令和元年度第2回募集）

・募集期間 10月上旬～11月上旬頃

・事業者の公表 12月下旬頃（県HP）

（令和2年度分募集）

・募集期間 令和2年2月下旬～3月下旬

・事業者の公表 4月下旬頃（県HP）

※令和2年度分の募集は1回の予定

森林経営管理制度や意欲と能力のある林業経営者の募集に関する情報は、群馬県ホームページ上で公開しています。

県HPアドレス

<https://www.pref.gunma.jp/>

04/e30g_00086.html

◎資源情報高度化による市町村支援

市町村が森林所有者から森林の経営管理を引き受けるにあたっては、森林の現況、路網の整備計画、経営収支の算出方法やその見込み等を説明した上で合意を得る必要があることから、精度の高い森林資源情報が不可欠です。

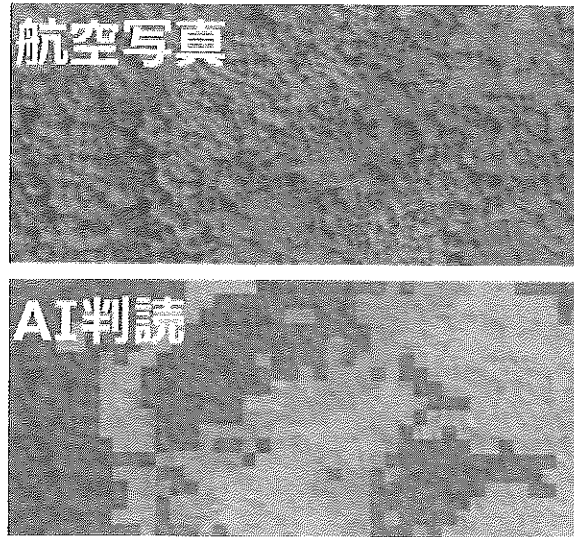
そこで、県では森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度の本格的な運用が始まると想定している令和4年度までに、高度化した森林資源情報を市町村に提供するため「森林・木材資源情報高度化推進事業」に着手しました。

本事業は、①高精度な森林資源情報、②作業路網計画作成支援機能、③施業収支試算支援機能の3つを整備することを目的とし、本年度から来年度にかけて、まずは高精度な森林資源情報を整備します。本事業で得られたデータを活用し、市町村の経営管理権集積計画作成等を支援します。

AIを活用した樹種判読調査

森林資源の分布状況をより明確にするため、人工知能（AI）を活用し、県が毎年撮影している航空写真を基に林相区分図を作成します。AIを活用することで、広域の樹種区分を高精度かつ効率的に実施することが可

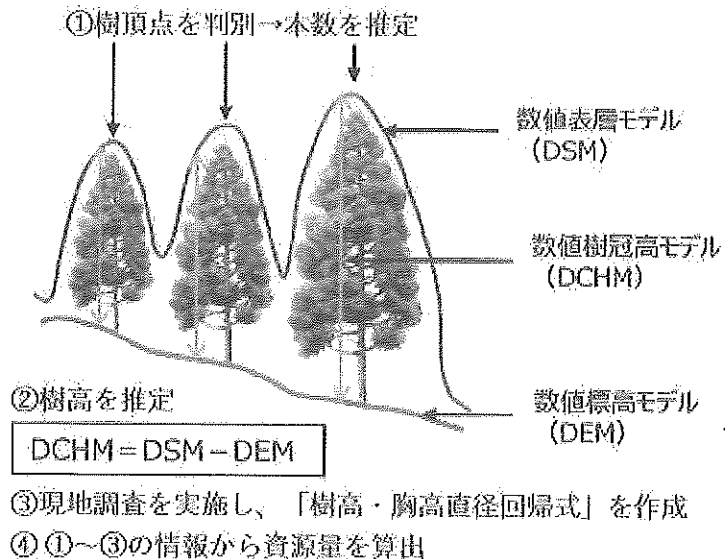
能になります。現在の森林資源情報は、森林簿や森林計画図によって管理されていますが、さらに詳細な情報を把握することができます。



AIによる樹種判読の一例

森林資源量解析調査

県が撮影した航空写真と、国土地理院が管理している航空レーザ計測データを用いて、森林の資源量を解析します。これにより、立木本数や樹高、材積等を把握することができます。先述の樹種判読調査と組み合わせることで、10m×10mメッシュの単位で樹種・立木密度・材積の分布状況を森林GIS上で見ることができるようになります。



これらで整備した情報を活用することで、市町村が実施する意向調査対象地の抽出や森林概況調査を省力化・効率化します。

(林政課経営管理室)

林政情報

防災・減災、国土強靱化のための緊急3か年対策の取組

県土面積の3分の2を占めている森林は、木材の生産をはじめ、水源のかん養や県土の保全など、多くの恵みを与えてくれる、掛け替えのない県民共通の財産です。

一方で、急峻で脆弱な地質の山間部においては、集中豪雨や地震等による山腹崩壊や、土石流による甚大な災害が全国各地で発生し、大きな被害をもたらしています。このような災害の危険性が高いと考えられる山地災害危険地区は、県内の民有林だけでも4,466箇所が指定されている状況です。

自然災害に対して事前に備え、県民の生命・財産を守る防災・減災対策は一層の重要性が増しており、国が進める「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を活用し、山地災害危険地区を中心とした治山・林道・森林整備を一体的に実施しています。この取組は、森林の持つ公益的機能の発揮と災害に強い森林づくりを一層推進し、県民の安全・安心の確保を図ろうとするものです。

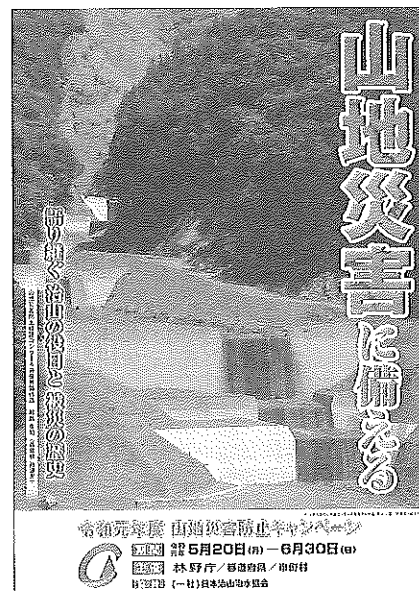
治山事業による取組

平成29年7月九州北部豪雨において、記録的な豪雨により多数の山腹斜面が崩壊し、大量の流木による甚大な被害が発生しました。このことから、県内においても緊急的に流木対策が必要な地区を抽出するとともに、平成30年7月豪雨に伴う山地災害危険地区の緊急点検を行いました。治山事業としては、この3か年緊急対策により、集中的にこれらの地区の工事を実施し、完成を早める計画です。



整備が進むH28災害発生箇所状況

災害に備える



夏の豪雨シーズンとなってまいりました。国、県では毎年5、6月に山地災害防止キャンペーンを実施しております。

近年の豪雨では、記録的な雨量となることが珍しくなくなってきました。防災・減災の第一歩は、まず「避難」。日頃から、自宅周辺の山地災害危険地を把握するなど、万が一の時の対応にハザードマップ等を役立てていただけたらと考えます。

(森林保全課治山係)

森の談話室

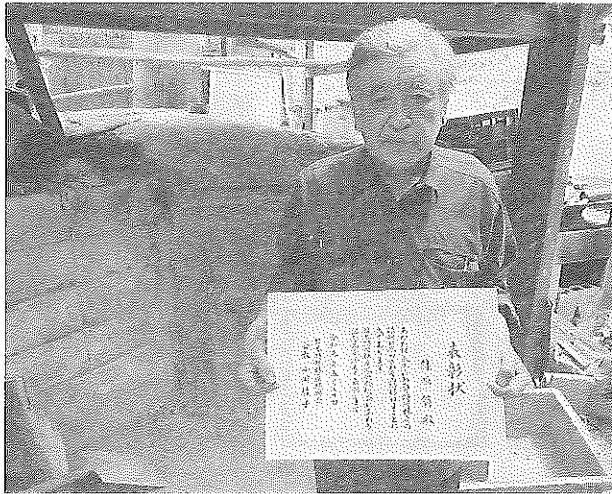
長野原町林地区の炭焼き

篠原 箭さん

皆さんは「八ッ場ダム」の上流、道の駅「八ッ場ふるさと館」の近くで炭焼きをしているのを知っていますか？。

今回は、吾妻郡長野原町林地区で木炭の生産と炭焼き体験などを行っている「林すみやきの里」代表の篠原さんから話をお聞きしたので紹介いたします。

「林すみやきの里」は、八ッ場ダムの建設によりその地区から発生する広葉樹などの支障木を炭の材料として有効利用してはという



表彰された篠原さんと炭焼き窯

ことで、地元の有志の方々十三名で平成六年に設立されました。現在は、構成員九名となりましたが、年間約4〜5回程度炭焼きをしています。

以前は、水没区域に黒炭窯が2基ありました。現在の場所に移築した際に、黒炭窯1基と白炭窯1基を作りましたが、今は、黒炭窯だけを使っているということです。「白炭窯は難しい。しかし、これから、徐々に焼いていきたい。」と説明してくれました。焼いた炭はどうしているのか訪ねたところ、「地元の観光施設の売店、駅の売店で販売している」ということでした。また、「夏になると、キャンプ場や大学の施設などからも注文が来るんだよ。他にも個人から注文があったり、地元の住人も購入していく。」とのこと。木炭以外にも、木酢液や竹炭も作っており、炭と一緒に販売しているということでした。

長野原町は、八ッ場ダムの関連事業で下流都県との交流事業を実施しており、千葉県の小学生と地元小学校が交流を行っています。その交流事業で「林すみやきの里」は、設立当時から、小学生に炭焼き体験学習を指導しているということです。以前は、地元の福祉作業所の方たちも炭焼き体験に来ていたと言ったことでした。最近では、県立農林大学校の学生も実習で訪れています。

篠原さんは、吾妻郡木炭協会や県木炭協会



地元小学生炭焼き体験

の役員を長年勤め、群馬県の木炭の振興に貢献したことが認められ、日本特用林産振興会より特用林産功労者賞を受賞しました。

また、「林すみやきの里のメンバーも高齢化して来ている。このままでは、炭焼きを出る人がいなくなってしまう。後継者となる若い人が出てきてくれれば良いが。」と語り、続けて「毎年、ここに炭を買いに来ってくれる人もいるし、注文を入れてくれる人がいる。ホームセンターの方が安いのに（笑）。このように炭を買いに来る人がいるから、これからは、がんばってやらないと」と笑顔で話してくれました。

（吾妻森林環境事務所通信員）

の便り

「トラツクの森」の20回目の活動

群馬県トラツク協会（以下、協会）は、「企業参加の森づくり」として、平成20年に前橋市と森林整備等の活動に関する協定を締結し、前橋市嶺公園内の「トラツクの森」で、毎年森林整備活動をしています。

「企業参加の森づくり」は、社会貢献として森林整備活動をしようとする企業や団体と、自らの手では整備できない森林所有者の間を、県が橋渡しし、森林を多くの手で守り育てる取り組みです。

協会
は、この
制度創設
の早い段
階から活
動を行っ
ており、
毎回NP
O法人
フォレス
トぐんま
21の協力
を得て森
林整備活
動を実施



開会式

していま
す。
今回の
活動は、

5月19日
（日）に
実施さ
れ、20回
目の節目
にあたる
ことか
ら、前橋



お子さんも一所懸命植えてます

市長も参加され、森林整備活動とあわせて記念植樹が行われました。

当日は、協会員とその家族を中心に二百名を超える参加者がありました。作業に先立ち森林所有者である前橋市長から、永年の功績を称え協会へ感謝状が贈られました。その後、各班に分かれてヤマモミジの記念植樹・下草刈り等の作業に汗を流しました。

協会では、今後も活動を継続し、地域に親しまれる森づくりに取り組んでいきたいとのこと。

この森が、皆さんの憩いの場となるよう、また、「愛される里山」となることを願うとともに、今後も下草刈りなどの手入れが継続されていくことを期待します。

（渡川森林事務所通信員）

たかさきスプリングフェスティバル開催

4月29日「育てよう市民の森・自然との調和を考える」をテーマに第31回たかさきスプリングフェスティバルが高崎音楽センター周辺や市庁舎前の広場で開催されました。

当日は、音楽センター前で、緑花祭セレモニーと苗木・花鉢の配布が行われたほか、地域交流物産や市内各団体が特産品を販売する青空テント村、フリーマーケット、里山ひろばなど屋外のイベントのほか、音楽センター内ではフラダンスやチャアリーディングなどのパフォーマンスが開催されました。天気にもめぐまれ、各イベントはたいへん多くの人で賑わっていました。



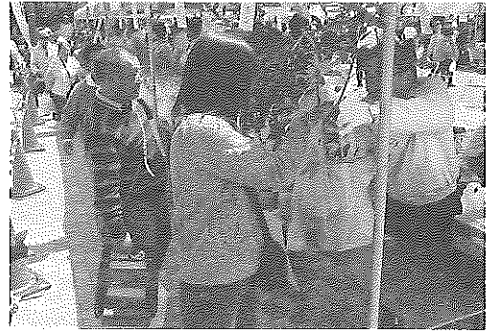
オープニングセレモニー

緑花祭
は、子供た
ちのオール
スターチャ
によるオー
プニングセ
レモニーの
後に、高崎
市と安中市
の緑化運動
を推進し、
緑豊かな郷



土をつくることを目的に活動している「高崎地区郷土緑化推進委員会」と「高崎市緑化運動推進委員会」や各委員の紹介後

に、いよいよ緑花祭セレモニーである苗木と花鉢の配布と緑の募金への協力の依頼が行われました。先着一三〇〇名、一人一本（鉢）限りのため、配布前から長い列ができ、なかには配布する三時間も前から並んでいた方もいました。



苗木配布

準備をしたウンシュウミカン・オリーブ・ナツツバキ・ブルーベリーのほか花鉢類は十一時に配布が開始され、十二時には配布が終了しました。ウンシュウミカンやブルーベリーなど実がなるものに人気があったようでした。天候にも助けられ緑花祭はたいへん盛況に終了となりました。

第三十一回を数えたこのイベントが今後も継続され、市民が育む緑豊かな郷土づくりにつながるよう期待します。

（西部森林環境事務所通信員）

未来を担う若手職員の育成に向けて 「日野県有林を活用した地域課題研修」

藤岡森林事務所では昨年度、日野県有林で約十ヘクタールの搬出間伐を行い、およそ千三百立米の丸太を生産しました。搬出間伐の実践の場は、林業県ぐんまの実現を目指す我々にとつて、素材生産に必要なノウハウを直に体験できるまたとない機会です。当事務所では、昨年度上期に実施した「間伐事業の設計・積算」「林分データの収集」をテーマ



作業道を使っての造材作業

とした研修に続き、下期には「路網整備と作業システム」「搬出材の検知・仕分け」について、所内の若手職員を対象に技術力向上研修を実施しました。計画の時点では、地形や土質などに気を使った作業道ですが、集材・造材の様子を見ると、高性能林業機械が効率よく作業できる配置になっていることも重要であることがよく分かりました。

また、造材された材をどう仕分け、どのように山土場に集積するのか、フォワーダとグリップルの絶妙なコンビネーションを直接見

学できた経験は、県有林管理だけでなく、森林経営計画の策定や造林・間伐・作業道などの事業を行う上で、貴重な経験になりました。



売上を左右する検知



仕分けの重要性を知る

集積された山土場では検知の実習も行いました。今回生産した素材の売払いは、山土場引渡しとなるシステム販売で行いましたので、仕分け・検知の結果が成果に直接影響する重要な作業であることを体感しました。

今年度は、デジタルコンパスを使用した周囲測量や、架線集材を想定した間伐計画策定実習などを予定しています。

日野県有林での間伐事業が、林業の成長産業化を目指す職員の人材育成の場となるよう、引き続き普及指導員も精一杯頑張ります。

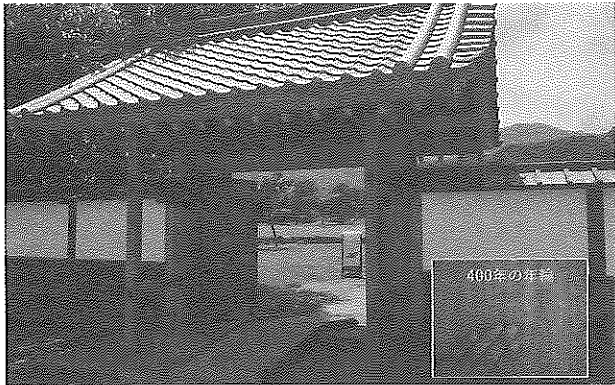
（藤岡森林事務所通信員）

の便り。

甘楽町の木造文化施設 を担う松井木材

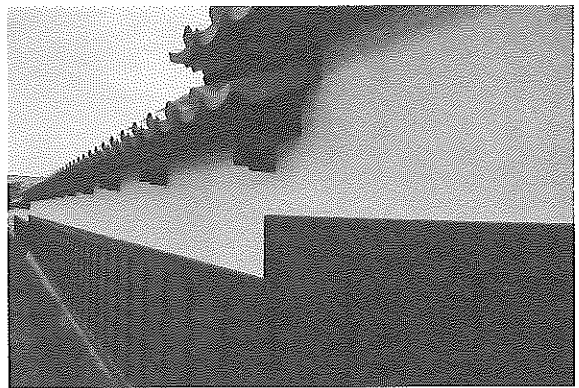
甘楽町には国指定名勝の楽山園をはじめ、旧小幡藩武家屋敷など、国内でも有効の文化遺産があり、平成十二年の名勝指定後は甘楽町により着々と整備が進んでいます。

甘楽町で古くから製材所を営む松井木材(株)は、今では少なくなった大径材の製材が可能な台車製材機を保有し、乾燥機やモルターなどの製材機械を備え、柱材から内装材まで幅広い製品を地域の工務店などに納入しています。そして、楽山園の木造施設を整備する上で中心的役割を担い、吉野杉の赤身大



「庭門」と目の詰んだ年輪

径材から挽き出された「中門」、庭園内に点在する「茶屋」、「庭門」など、園内の随所で見られる木造文化施設の木材を納



県産スギによる織田式木造塀

入しています。特に庭園入り口に配された「庭門」は、日光スギの1mものから挽き出された材をふんだんに使用

し、その柱からはミリ単位に目の詰んだ約四百年の年輪を確認する事ができます。また、同社ではこれら楽山園の木造施設のほか、今年3月に完成した「織田宗家七代の墓」の「織田式木造塀」建築にも携わっており、手刻み加工により生み出された下見板と漆喰仕上げの美しい木造塀を見る事ができます。

文化施設への木材納入は、品質や設計精度が厳しく大変な作業と考えられますが、今後とも良質な材を納入し、甘楽町の歴史的町づくりに貢献して頂きたいと思えます。また楽山園周辺施設へ訪れたことがない方は、是非一度足を運んではいかがでしょう。今流行の歴まちカードも集まりますよ。

(富岡森林事務所通信員)

春の恒例行事「緑の募金・苗木配布会」を実施

今年も春の緑化運動が例年と同じ4月1日から5月31日まで展開されました。

吾妻地域では各町村のご協力をいただき、街頭募金及び苗木配布会を4月13日の東吾妻町岩井親水公園で開催された「すいせん祭り」の会場をスタートに全4箇所で開催に実施することができました。

各会場とも、3〜4種類の苗木を準備し、募金していただいた方に苗木を配布しましたが、募金開始前から長蛇の列が出来るほど盛



嬭恋村「安市」



長野原町「ハツ場ふるさと館」

況な会場もありました。

長野原町の道の駅「ハツ場ふるさと館」の会場では、長野原町のゆるキャラ「にゃがのほら」が登場し、緑の募金の活動のお手伝いをしてくれました。

県外から訪れた方からも募金に協力いただいたり、「苗木は要らないので、募金だけさせてもらうよ」という方など、多くの方々にご協力いただき終了することが出来ました。来年も緑化運動の趣旨を理解していただけるよう準備をしなければと感じた緑化運動推進期間でした。

(吾妻森林環境事務所通信員)

「緑の募金と苗木配布会」開催

4月1日から5月31日まで、「その手からつながる未来 広がる未来」をテーマに、春の緑化推進運動が実施されました。利根沼田地域では、この時期に開催される「沼田公園桜まつり」のメインイベントとして、「緑の募金と苗木配布会」を行っています。

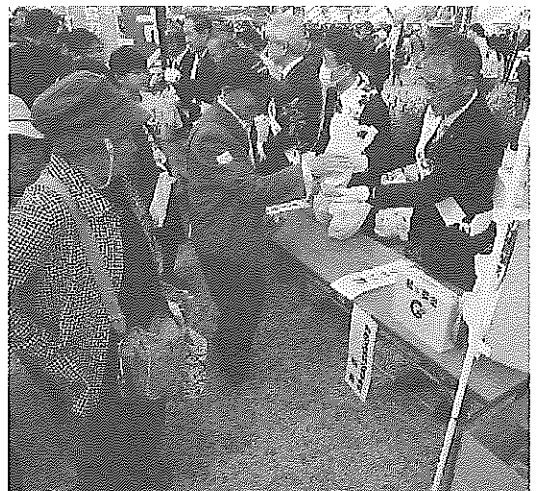
今年4月7日(日)、利根沼田地区郷土緑化推進委員会の主催で、沼田商工会議所青年部にも協力をいただき実施しました。

当日は天候には恵まれたものの、前日までの肌寒い陽気も重なり、桜の開花もわずかではありましたが、来場者は例年になく多く、周辺の道路も大混雑となるほどでした。

「桜まつり」は、フリーマーケットや地元特産品をテーマとした物産飲食等の販売、また地域交流イベント



横山委員長(沼田市長)挨拶



苗木配付会の様子

トとして、和太鼓などのパフォーマンスも披露され、来場された方々も楽しんでいました。「苗木配布会」では、横山委員長(沼田市長)の挨拶後、各配布者より手渡されました。配布の苗木は、「ハナミズキ」「クルメツツジ」「キンシバイ」「キンモクセイ」「サザンカ」の5種類を各100本、合計500本を準備しましたが、配布前から長い列ができ、瞬間に配り終えました。緑の募金活動では、沼田市観光親善大使に協力をいただきました。来場された皆さん大変ありがとうございました。

今回配布した緑化苗木も、それぞれのご家庭の庭先に根付き、地域の緑化の一助になればと願っております。

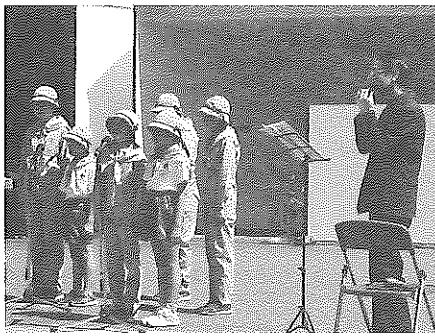
(利根沼田森林環境事務所通信員)

各地の便り

第七十三回 群馬県植樹祭の開催

「令和」初となる県植樹祭が「植樹から未来に繋ぐ緑の輪」をテーマに五月二十五日みどり市東町の「富弘美術館」を会場に開催されました。当日は、晴天に恵まれ、県民、森林・林業関係者、緑の少年団など千名の参加がありました。

オープニング・アトラクションでは、県立渡良瀬特別支援学校による迫力満点の和太鼓が披露され、会場を盛り上げました。続いて、早の会によるオカリナ演奏のもと、みどり市あずま小の児童による星野富弘氏の詩の朗読がありました。身近な自然への感謝をたくさん言葉で伝えてもらいました。



詩の朗読

式典では、長年にわたる緑化活動推進への貢献に対して「花桃の里づくり実行委員会」と「林欣一さん」が群馬県緑化功労者として知事から感謝状を授与されました。また、あずま小緑の少年団の齋藤美羽さん、

柳澤鈴斗さんら「緑のメッセージ」が発信されました。式典の最後には、

みどり市須藤市長とあずま小緑の少年団員、渋川市高木市長と津久田小・三原

田小の緑の少年団員がそれぞれの市の木である「ソメイヨシノ」と「もみじ」を交換し、大会引継のセレモニーを行いました。記念植樹では、ハナモモ、キリシマツツジを美術館の周辺に植栽しました。



記念植樹

「平成」から「令和」に繋がれた本大会を契機にみどり市の充実した森林資源を活用して、群馬県林業・木材産業の発展と緑豊かな郷土づくりにつながるようご期待申し上げます。
(桐生森林事務所通信員)



苗木交換

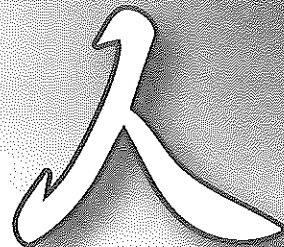
天皇陛下御即位記念植樹

天皇陛下の即位を記念したシダレザクラの植樹（主催・群馬県・群馬県緑化推進委員会、高崎市・関東森林管理局）が六月八日、高崎市の群馬の森で行われました。大澤正明知事や狩野浩志群馬県議会議長（群馬県林業改良普及協会会長）、地元小学生らが苗木を植え、新しい時代をお祝いしました。

式典終了後には、「緑の募金推進中央キャンペーン」として、八木原勇治群馬県緑化推進委員会理事長など八名により、ブルーベリーの苗木配布会を開催し、緑化の普及啓発と「緑の募金」活動が行われました。



地域を担う



洪川広域森林組合 住吉良太さん

- 一 趣味 スノーボード
- 二 今後の抱負

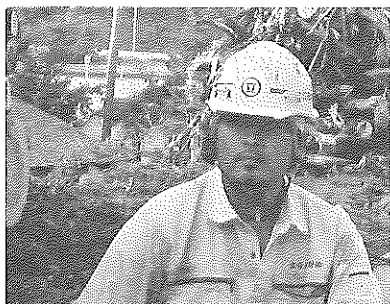
安全な作業を心掛け、効率よく仕事ができるようになりたい。また、先輩方の技術を学び、身に付けたい。



立石木材株式会社 山口陽祐さん

- 一 趣味 野球・読書
- 二 今後の抱負

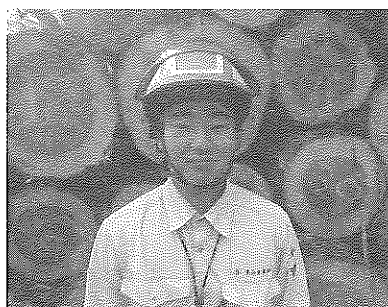
三年間いろいろな経験が出来ました。これに満足することなく研修や現場での経験を活かしながら、技術の向上を目指して行きたい。



高山林業株式会社 平形元治さん

- 一 趣味 サイクリング
- 二 今後の抱負

現在、現場では集材・伐倒作業を行っています。将来の山の姿、山の未来を考えながら仕事をしていきたい。自然を感じ、山を観察し、さらなる自分の技術を高めたい。



㈱清水インダストリー 塩野修身さん

- 一 趣味 音楽鑑賞
- 二 今後の抱負

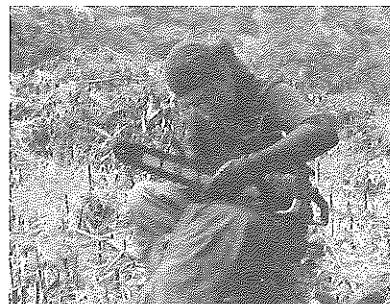
体力の続く限り、安全第一に技術の向上を目指していきたい。



㈱清水インダストリー 新井雄大さん

- 一 趣味 車いじり
- 二 今後の抱負

安全作業を心掛け永く林業をやりたいこうと思いたいです。



わたらせ森林組合 福田和希さん

- 一 趣味 登山・釣り
- 二 今後の抱負

フォレストワーカーの研修が終わり、作業内容も少しずつわかってきたので、どのような仕事を進めていけば効率が良いか先輩方と相談しながら仕事をしていきたいと思っています。また、リスクに対してしっかりと考え安全作業を心掛けてフォレストワーカーを目指したいと思っています。



ヒノキコンテナ苗木の植栽時期について

スギ、ヒノキの人工林は主伐の時期を迎えており、その後に経営林を継続するためには、苗木を植える必要があります。

苗木は、主に苗畑で育苗されます。春に種をまき、二回植え替えて、三年経ったものが出荷されています。これを裸苗もしくは通常苗と呼んでいます。

裸苗の育苗には、広い畑地面積が必要です。また、耕耘、消毒、除草、植え替えなどに労力を必要とします。

これらを解消するため、(国研) 森林研究・整備機構森林総合研究所がコンテナ苗木の育苗容器を開発しました。これは、マルチキャビティコンテナと呼ばれるもので、ポットが結合しており、小面積で集約的な育苗管理ができるようになりました。また、内側のリブ状の突起物、底面の大きな開口により、「根巻き」がないストレスレスの苗木の育苗が可能となりました。

コンテナ苗木は小型軽量であり、植え穴も小さくて済むことから、植付け作業の労力軽減が図られます。そして、何より抜き取り作業が容易で、根に負担がかかりにくいいため、いつでも出荷が可能になると言われています。

そこで、林業試験場では、コンテナ苗木の普及に向けて、ヒノキ苗木を月別に植栽し、生存率、健全度の是非について調査しました。

調査は、林木育種場の敷地内を植林地に見立て、二〇一五年の十月から植栽を開始し、冬の一月から三月を除いて、毎月二〇本ずつ植栽しました。

植栽当初のコンテナ苗木の形状比(樹高/根元直径)値は高く、細長くて弱々しい形質でしたが、植栽後三年目には、数値はほぼ五・〇以下の良好な値となり(表1)、根系の発達も進んでいると考えられました。また、冬期を除いたすべての時期で生存率、健全度も高い値を示しており(表2)、いつ植えても大丈夫であることがわかりました。

コンテナ苗木の育苗技術については、育苗容器の容積の小型化、培土、肥料等の改良、コンテナへの直接播種の検討、育苗期間の短縮など、まだ、課題がありますが、皆伐再造林の推進は「林業県ぐんま」の実現に必須であり、そのためにはコンテナ苗木の導入がひとつの突破口になるかもしれません。今回の結果が再造林の一助になることを期待します。

(林業試験場 森林科学係)

表1 ヒノキコンテナ苗木の形状比の推移

植栽月	10	11	12	4	5	6	7	8	9
測定年月 2017.10月	5.6	6.3	7.2	6.5	6.8	6.5	6.8	9	11.5
2018.10月	3.7	4.2	3.9	4	4.1	4	4.1	4.6	6.5

※数値は 5.0 以下が良好

表2 ヒノキコンテナ苗木の生存率と健全度

植栽月		10	11	12	4	5	6	7	8	9
測定年月 2017.12月	生存率(%)	95	100	100	100	95	100	100	95	100
	健全度	4.8	4.9	5	5	4.8	4.9	5	4.5	4.9

健全度 (0 ; 全枯れ ~ 3 ; 葉の半分が枯れ ~ 5 ; 枯れ葉なし)

普及コーナー

チェーンソーを業務で扱う方は、特別教育の補講が必要！

平成三十一年二月に労働安全衛生規則（省令）が改正されました。今回の省令改正に伴い、特別教育の見直しも行われました。

このことにより、これまで「伐木等の業務に関する特別教育」を受講された方も新たに追加された科目を補講により受講する必要があります。

令和二年七月三十一日までに補講を受講しない場合、改めて新たな省令に基づき特別教育を受講しなければ、業務でチェーンソーを使用することが出来なくなりますのでご注意ください。

補講については、林業・木材製造業労働災害防止協会群馬支部（☎027-266-8220）へお問い合わせ下さい。

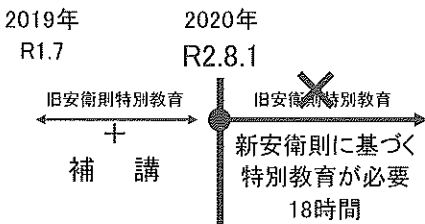
補講の受講時間

安衛則第36条第8号と第8号の2及び第8号のみの受講者

学科	伐木等作業に関する知識	1.0時間
	関係法令	1.0時間
実技	伐木等の方法	0.5時間
合計		2.5時間

安衛則第36条第8号の2のみの受講者

学科	伐木等作業に関する知識	2.0時間
	関係法令	1.0時間
実技	伐木等の方法	2.0時間
合計		5.0時間



第二十回群馬県きのこと料理コンクールの参加者募集について

群馬県では、県産きこの消費拡大に向け、県産きこのを用いたアイデア料理コンクールを毎年開催しています。本コンクール最優秀作品は全国大会に本県代表として推薦を行います。皆様奮ってご応募ください。

○応募資格
県内に在住又は通勤・通学されている方

○応募内容
①きこのを用いた未発表の料理
②材料のきこのは群馬県内で生産されているものを用いること

③材料費は一作品四人分で二千円以内
（本審査は食材費二千円を支給します）

④調理時間は一時間以内
（乾きのご等を戻す時間は除く）

○応募期限 九月二十七日（金）必着
○応募方法

所定の応募票に料理の写真を添付の上、郵送又はメールにより御応募ください。詳しくは後述の群馬県ホームページをご覧ください。どうか、お問い合わせください。

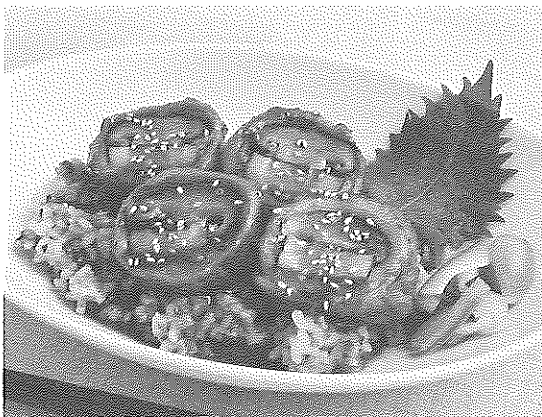
○応募先
群馬県森林組合連合会内 群馬県特産振興会 きのこと料理コンクール係
〒379-2153 前橋市上大島町182の20

Email: rengou@gunmorior.jp
○審査日程・会場

一次審査（書類審査）通過作品は、十一月三十日（土）に山崎学園群馬調理師専門学校（前橋市小屋原町114の1）で本審査（調理審査）を実施します。

○入賞レシピの著作権は県に帰属し、印刷物やクックパッド「ぐんまちゃん」のキッチンホームページなどに使用する場合がありません。

○問い合わせ先
県林業振興課 きのこと普及室 きのこと係
☎027-226-3234
ホームページ
<http://www.pref.gunma.jp/06/e3600109.html>



第32回きのこと料理コンクール全国大会
林野庁長官賞受賞作品
「しいたげとスッキー二の肉巻き丼」

トピックス

林業改良普及協会 第六十回通常総会

第六十回通常総会を五月二十三日（木）、群馬県前橋合同庁舎において、狩野浩志群馬県議会議長、桑原雅美群馬県森林環境部長をはじめ多数のご来賓をお迎えし、大勢の会員の参加を得て盛大に開催した。



あいさつする狩野新会長（県議会議長）

開会に先立ち大手会長は、「来賓をはじめ多くの出席者に感謝を述べるとともに、国や県における森林整備や県産木材利用促進のための制度や税制改正などを説明し、普及活動

を通して『林業県ぐんま』の発展に努めてまいりたい」と述べた。

優良林業推挙行事表彰式後、議事に入り、平成三十年度の業務報告と決算の承認をいただき、続いて平成三十一年度の事業計画並びに収支予算について原案通り決定をいただいた。

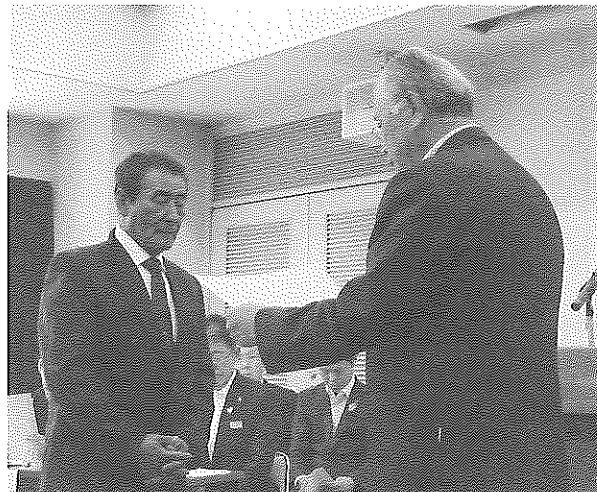
また、任期満了に伴い大手会長が退任し狩野浩志県議が新しい会長に、不在だった副会長には金井康夫県議と外山京太郎川場村長、新理事には新井利明多野東部森林組合代表理事組合長が選任された。新役員は

- 会長…狩野浩志
- 副会長…金井康夫・外山京太郎
- 理事…高木 勉・市川平治・新井利明
須賀芳明・熊川 栄・荒木恵司
八木原勇治・関口 功
- 監事…半田由明・勝野信孝

（任期は令和元年五月二十三日から二年間）

平成三十年度 優良林業推挙行事表彰式

総会開催に先立ち、平成三十年度林業経営推挙行事及び間伐コンクール入賞者表彰式が開催された。8名の入賞者には県知事、県森林組合連合会長、県造林協会会長、県普及協会長から賞状と記念品が贈られた。



表彰式の様子

・平成三十年度林業経営推挙行事入賞者	最優秀賞（知事賞）	手小屋共有林組合
・平成三十年度間伐コンクール入賞者	最優秀賞（知事賞）	吾妻森林組合
	優秀賞（森連会長賞）	渋川広域森林組合
	〃（造林協会会長賞）	碓氷川森林組合
	優良賞	多野東部森林組合
〃	〃	下仁田町森林組合
〃	〃	利根沼田森林組合
〃	〃	わたらせ森林組合

伐木作業等の安全対策の規制が 変わります！

平成 31 年 2 月 12 日伐木等作業に係る法律が改正されました。



～伐木作業等を行うすべての業種が対象～

チェーンソー特別教育修了者は、令和 2 年 7 月までに、伐木等の業務特別教育の補講を受けないと、令和 2 年 8 月よりチェーンソーを用いた伐木等作業に就くことができなくなりますので、忘れずに補講を受講してください。

なお、林災防群馬県支部では、補講イ（安衛則第 36 条の第 8 号の修了証をお持ちの方対象）を 7 月より実施します。

補講実施予定表は、県木連HPに掲載してあります。

<http://gunma-wood.com>

連絡先：林災防群馬県支部 電話番号：027-266-8220

NAMBA
Construction Inc.

南波建設株式会社

代表取締役 南波 将彦

〒377-0896 吾妻郡東吾妻町大字原町452
TEL:0279-68-2511 FAX:0279-68-2564

令和元年七月二十日 発行



土木・舗装・建築・水道工事など
総合建設業

塚田建設株式会社

TSUKADA



ISO9001:2015 認証取得

〒377-0807 群馬県吾妻郡東吾妻町大字泉沢1037 TEL 0279-68-2463 FAX 0279-68-3088

災害に強い森林づくりの推進・林道・作業道事業の拡充強化
堤名板の受注、治山事業・林道事業・県有林事業・ぐんま緑の県民基金事業の歩掛公表

群馬県治山林道協会

会長 星名 建市

〒371-0854 前橋市大渡町1-10-7 公社総合ビル6階
TEL 027-280-6255 FAX 027-255-6265

ふるさとの木で家を建てよう

県産材を使って

住宅を建築すると最大65万円

内装を施工すると最大15万円

県が補助します



一般社団法人 群馬県木材組合連合会

〒379-2131 前橋市西善町524-1
電話:027-266-8220
<http://www.gunma-wood.com/>

発行責任者 行 群馬県林業改良普及協会
印刷者 杉浦印刷株式会社

表紙の写真

第73回群馬県植樹祭

令和元年五月二十五日
みどり市東町 富弘美術館